

糸島市副市長

# 甘利 昌也 AMARI MASAYA

- 平成12年 4月 自治省採用  
税務局資産評価室
- 平成13年 1月 総務省自治税務局固定資産税課資産評価室
- 平成14年 1月 山梨県土木部土木総務課
- 平成15年 4月 同 企画部県民室交通政策課
- 平成15年10月 危険物保安技術協会総務部総務課
- 平成17年10月 総務省自治行政局自治政策課国際室国際交流第一係長
- 平成19年11月 自治体国際化協会総務部企画課主査
- 平成20年 5月 同 シドニー事務所所長補佐
- 平成22年 5月 地方公務員共済組合連合会資金運用部  
企画管理課計画係長
- 平成24年 4月 総務省自治税務局都道府県税課直税第一係長
- 平成27年 4月 自治行政局地域政策課地域情報政策室地域情報専門官
- 平成28年 4月 自治行政局地域自立応援課主幹
- 平成29年 4月 自治行政局地域政策課主幹
- 平成30年 4月 現 職



## 地方行政の最前線から

### 市役所の業務責任者として

皆さんに質問です。糸島市をご存知ですか?「島」ではありません。福岡県の西端に位置し、大都市の福岡市に隣接する人口10万人強の市です。都市近郊ということで市街地があり、一方で、北は玄界灘、南は脊振(せぶり)山系と豊かな自然にも恵まれ、第一次産業も盛んです。天然真鯛の水揚げは日本一を誇ります。離島もあります。多様な地域を有する点で「日本の縮図」と言えるのではないのでしょうか。

この糸島市で現在、副市長として市役所の業務全般を統括しています。ご存じのとおり市役所は、住民に最も身近な行政機関で、住民生活全般に深く浸透しています。国や県の諸制度、それらを実践するのも市役所です。制度の円滑な導入、あるいは最近「自治体間競争」という言葉があるように、自治体に創意工夫が求められます。総務省職員としてこれまで得た知見・経験・人脈を駆使し、新たな政策立案を指揮・誘導することで市役所に日々「新しい風」を送り込んでいます。

### 様々な経験が成長の糧

現職に就くまでの間、様々な職場を経験してきました。振り返るといずれの職場も今につながる貴重な経験でありました。

副市長は、住民付託を受けた市長を補佐するのが最大の役割ですが、言い換えれば市政の実働である行政機構の監督者であるということです。監督に必要な資質は何か?それは「経験」であり、「コミュニケーション力」であると思います。特に後者は組織運営の潤滑油です。これ無しでは組織運営はままなりません。

総務省では様々な職場での勤務が経験できます。それは時に海外にまで及びます。実際オーストラリアでの海外勤務も経験しました。様々な職場には、様々な仕事、そして新たな人々との出会いがあります。それらを通じて経験が培われ、コミュニケーションの力が向上します。今の職責が果たせるのも、これらの財産があつてのこと。更に磨きをかけ自己の成長を図っています。

皆さんも総務省での勤務を通じて自らの成長を図ってください。



イベントが多い糸島市。毎週どこかで開かれる行事に参加し、地域の方々との交流を深めています。本市最大の祭り「前原山笠」では勇壮な山笠を指揮しました。

休日は自転車です市内を走り回っています。青い海、雄大な山々、のどかな田園などいくら走っても飽きません。最近では「自転車の副市長」がすっかり定着しています。



## Week Schedule

### Monday

新年度予算の査定。必要な分野は重点的に、慣行的な事業は見直しを、メリハリのついた予算編成を心がけています。

### Tuesday

定例の「庁議」に出席。重要政策を審議します。庁議の活性化も大事な役割、様々な視点から意見を投げかけます。

### Wednesday

大学関係者との会談。市内に九州大学のキャンパスがあるので、日頃より緊密な関係を持っています。

### Thursday

企業立地協定式に出席。兼任の土地開発公社理事長として協定に署名。本市での活動を強力にバックアップします。



### Friday

市長との協議。今週の出来事と来週の予定を共有します。午後は自席で来週すべきことを整理します。